

事業仕分けを実施

10月17日(日)、71名の傍聴者が見守る中、開成町民センターで町行政改革推進委員会(町内の各種団体の代表者などで構成する機関で、町の行政改革の取り組みを調査・審議する機関)と政策シンクタンクである構想日本の協力により、事業仕分けを実施しました。

開成町らしい事業仕分けの実現に向けて

事業仕分けとは、行政が実施している事業に対し、必要性や本来あるべき姿を明らかにし、当該事業の方向性を仕分け区分に基づき仕分け人が判定をしていくものです。町では、開成町らしい事業仕分けを実施するため、次のような視点で取り組みました。

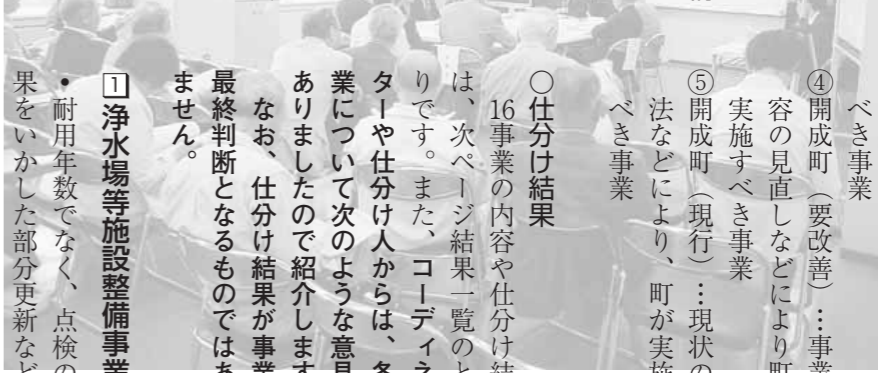
- ①対象事業は、町行政改革推進委員会において、町民の視点から16事業を選択。
- ②町行政改革推進委員会委員が中心となって仕分けを行い、町民の視点で改善点などを明らかにすること。
- ③当日の議論の様子や結果の公表を通じて、町の予算の使い方を町民に理解していただくようにすること。

○仕分けの実施体制
事業仕分けは、二班体制で行い、各班はコーディネーター1名、仕分け人6名編成で実施。各班のコーディネーターと仕分け人各1名は構想日本メンバー、5名の仕分け人は、町行政改革推進委員会委員の皆さんに協力していただきました。

○仕分け方法と仕分け区分
当日は、1事業約40分として、担当課からの事業内容の説明、質疑応答と議論、事業の評価・判定という流れで実施しました。

【仕分け区分】
評価・判定に用いた仕分け区分は、次のとおりです。

- ①不要：廃止を検討すべき事業
- ②民間：民間事業者等が実施すべき事業



○仕分け結果
16事業の内容や仕分け結果は、次ページ結果一覧のとおりです。また、コーディネーターや仕分け人からは、各事業について次のような意見がありましたので紹介します。なお、仕分け結果が事業の最終判断となるものではありません。

①浄水場等施設整備事業
・耐用年数でなく、点検の結果をいかした部分更新など合理的な方法で行うべき。
・整備結果による延命効果などが具体的に見えるようにしてほしい。

②下水道施設点検事業
・町民にコストがかかっていることの具体的な説明を広報することも重要。

③徴収事務効率化事業
・徴収専門員による研修などを通じて町職員のスキル向上を図ることが必要。
・徴収業務に平成22年度は年400万円かかっていることを町民に知らせるべき。

④校務用パソコン配備事業
・事業の必要性は認めるが、パソコンを配備したことによる成果をアンケートの工夫などにより計測し、町民に説明するという姿勢が必要。
・今後、リースを続ける場合と毎年数台ずつ購入する場合とのコスト差について再調査し、委託とリースの方法が適切なのか明確にしてほしい。

⑤あしがら郷瀬戸屋敷管理事業
・瀬戸屋敷の意義は極めて評価されるべきものだが、そもそもいかに活用すべきかを踏まえ、町としての企画を本格的に見直すべき。
・1千万円以上の事業費に対して、収益増に向けて努力し、収益増が大幅に期待できなければ運営費の削減策が必要。

⑥あじさい祭実施事業
・入りこみ客数を目標にする

⑦あしがら花火大会実施事業
・納涼祭りと花火大会は分離した方がよい。
・納涼祭りのあり方を町民の声を聞いて廃止を含めて見直してほしい。

⑧阿波おどり推進事業
・昭和63年から23年間の歴史であるが、年々町内の踊り手が減少してきている。連協会(自治会)および実行委員会として改めて町民の意見集約をはかり、この事業のあり方など本格的に見直す時期にきているのではないかと。

⑨公園維持管理事業
・公園管理にあたり自治会との協定、地域ボランティアの協力を得ていくには、「地域の公園は地域の住民で管理する」という意識の醸成やシス

テムを作るべき。

⑩南部地区土地区画整理事業
・財政負担と税収見込み、ランニングコスト、区域外道路の整備費などすべてを明確に住民に情報提供し、理解を得るべき。

⑪ごみ減量対策事業
・電動式生ごみ処理機の補助はすぐやめるべき。
・住民にごみ処理コストを具体的に説明することにより、住民自らごみを減らすことにつながる。

⑫生涯スポーツ推進事業
・スポーツ振興への概念や全体構想がなく、前例踏襲型で事業継続しているように感じられる。
・体育協会の体質改善をし、協会との役割分担を明確にすべきである。

⑬介護予防サービス事業
・介護予防事業も含め、健康な町をアピールしていただきたい。
・対象者の現実をよく把握して、ニーズに合わせたメニューを作成しむだのない事業を進めていくよう望む。

⑭福祉社会館管理事業
・管理が福祉協議会あり

きになっていないか。長い信頼関係は大切にしつつも、社会福祉協議会との関係を根本的に見直すべき。

⑮老人福祉推進事業
・対象年齢の見直し。特に平均寿命が80歳を超えている現状では、77歳への支給は不要。
・金品の配布だけでない敬老行事のあり方を考えていくべき。

⑯シルバー人材センター支援事業
・福祉の観点か、自立の観点かということについて、町のコンセプトが必要ではないか。
・ニーズの変化や働き手の業務能力を的確に捉え、ビジネスとしての経営感覚をもって対応することが必要。

○結果を受けて
準備段階から仕分け人の皆さんに積極的なご協力をいただき、開成町らしい事業仕分けを実施することができました。町ではこの結果を慎重に受け止め、各事業の今後の対応方針を定めたいと、行政改革の取組みを進めてまいります。なお、対応方針は決定しだいお知らせいたします。

開成町事業仕分け 結果一覧

※この結果が事業の最終判断となるものではありません。

班	事業番号	事業名	事業内容(概略)	平成21年度事業費(千円)	仕分け結果				
					(1) 不要	(2) 民間	(3) 国・県・広域	(4) 開成町(要改善)	(5) 開成町(現行)
第1班(第1会場 大会議室)	1	浄水場等施設整備事業	老朽化が進んだ浄水場施設(水道水の取水・浄化設備)の改修費用	15,645				5 ○	1
	2	下水道施設点検事業	町が整備した公共下水道を良好な状態で維持していくために定期的な点検等を実施する経費	3,013				6 ○	
	3	徴収事務効率化事業	税金の収納率向上を図ることを目的に滞納金の徴収を行うために雇用した職員の経費	1,943			1	4 ○	1
	4	校務用パソコン配備事業	幼稚園、小学校、中学校の教職員が使用するパソコンなどの整備費など	6,554				6 ○	
	5	あしがら郷瀬戸屋敷管理事業	観光振興や学習活動拠点としてのあしがら郷瀬戸屋敷(金井島)運営及び維持管理費	11,236	4 ○	1		1	
第2班(第2会場 中会議室A)	6	あじさい祭実施事業	あじさい祭を実施するための実行委員会への補助、あじさい祭の実施経費の一部	4,000		2		4 ○	
	7	あしがら花火大会実施事業	地域おこしを目的としたあしがら花火大会実施のための実行委員会への補助金及び納涼祭り実施のための補助金	1,900	1			5 ○	
	8	阿波おどり推進事業	阿波おどりを実施するための実行委員会や連協会への補助、阿波踊りの実施経費	2,210				6 ○	
	9	公園維持管理事業	町内の公園の維持管理費(遊具点検、電気、水道代等)	14,273	1			5 ○	
	10	南部地区土地区画整理事業	南部地区土地区画整理事業(組合施工)に対する町からの負担金	79,000				2	4 ○
	11	ごみ減量対策事業	資源ゴミの収集運搬委託、剪定枝の処理委託、電動式生ごみ処理機補助金、集回回収事業奨励金など	22,347				6 ○	
	12	生涯スポーツ推進事業	各種スポーツ大会の開催に必要な物品等の購入や開成町体育協会などスポーツ団体への補助金など	2,097				6 ○	
	13	介護予防サービス事業	介護認定者のうち、要支援(要介護に達しない方)の方に対し、ケアプランを作成するなど介護予防事業に要する人件費など	9,540				6 ○	
	14	福祉社会館管理事業	開成町福祉社会館の維持管理に要する費用の指定管理(公共施設を条例で定める範囲内で民間企業等に管理してもらうこと)料	43,892				6 ○	
	15	老人福祉推進事業	住民の長寿の節目(77歳、88歳、99歳、100歳)の年に支給する祝金など	2,055				5 ○	1
	16	シルバー人材センター支援事業	開成町シルバー人材センターの運営経費の支援	4,590	1			5 ○	

○は仕分け結果 数値は仕分け人6名の評価内訳